TOTO

施工・取扱説明書

工事店様へのお願い　この説明書は必ずお客様にお渡しください。

機能復旧ユニット

THE95L・THE96L

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 対象商品

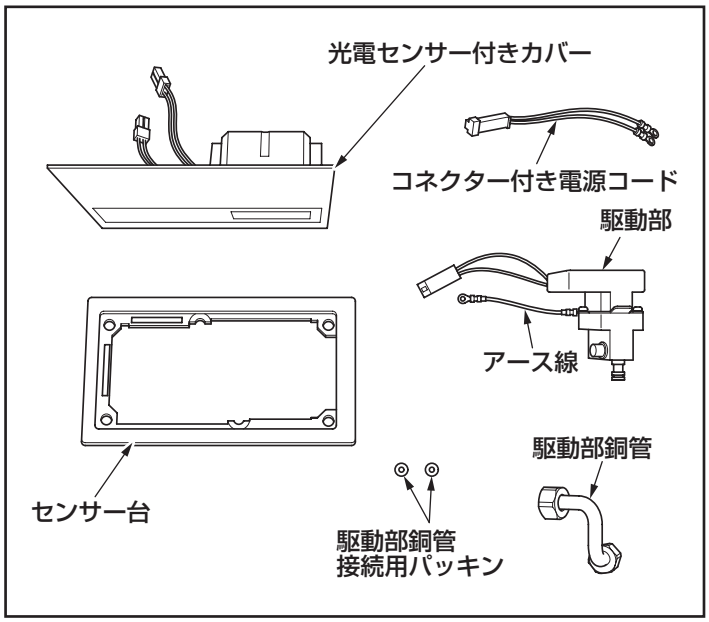
このユニットは、USシステムA型感知フラッシュバルブ（TEA95L・LX、TEA96L・LX）の機能復旧ユニットです。

◆補修対象部品は下表を参照してください。
◆商品品番を確認のうえ、商品と対応した機能復旧ユニットを使用してください。

補修対象部品	商品品番		機能復旧ユニット
54010（駆動部）または 58021N（光電センサー）または 55025RR（コントローラー）	TEA95L・LX（ヘアライン仕上げ）	→	THE95L
	TEA95L・LX#N1C（オフホワイト）	→	
	TEA96L・LX（ヘアライン仕上げ）	→	THE96L
	TEA96L・LX#N1C（オフホワイト）	→	

2 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



※THE95Lの場合です。（THE96Lはセンサー台が異なります）

別売品：TZ119
希望小売価格：500円（税抜）

（2014.7現在）

3 仕様

●交換後の主な仕様

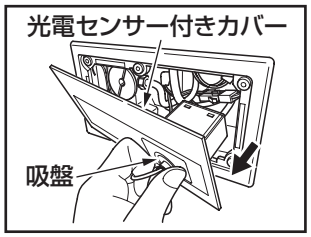
項目	＜交換前＞	➡ ＜交換後＞
電源	AC100V 50／60Hz	
感知距離	器具前面より80cm以内	器具前面より80cm以内
前洗浄	感知後 約5秒	感知後 切/約2秒/約5秒 切替可
手動洗浄	なし	掃除用磁石（別売品：TZ119）での作動
設備保護洗浄	あり（24時間タイマー）	あり（24時間タイマー）
洗浄水量	4～5L／回に調節可能（手動）	使用状況に応じて 2.5～5L／回（ファジー制御）

4-1 取替方法

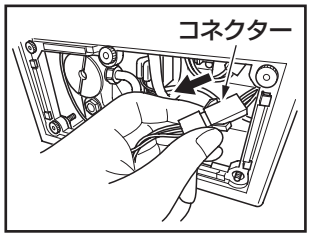
1 元電源を切る

2 旧光電センサーおよびセンサー台の取り外し

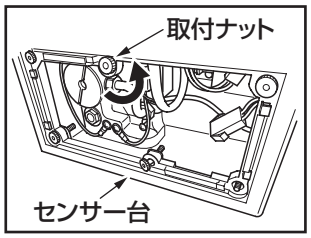
①吸盤で光電センサー付きカバーを引き出す。



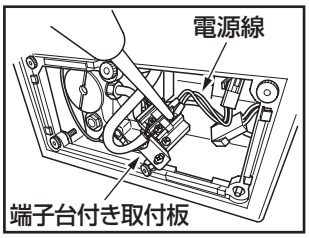
②光電センサーとコントローラーのコードを接続しているコネクターを外す。



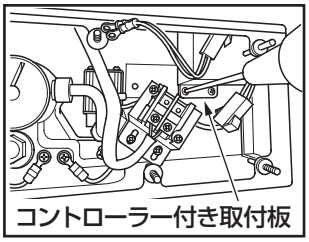
③センサー台の取付ナットを外し、センサー台を外す。
※ナットはあとから使用します。



④端子台付き取付板固定ねじを外し、端子台付き取付板を取り出す。端子台カバーを外し、端子台からコントローラーの電源線を外す。
※端子台取付板および端子台・カバー・固定ねじはあとから使用します。

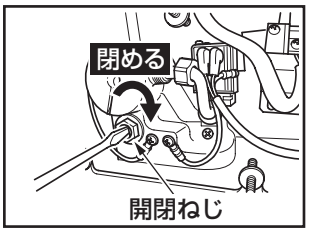


⑤コントローラー付き取付板固定ねじを外し、コントローラー付き取付板を取り外す。
※コントローラー付き取付板およびコントローラー・固定ねじは廃棄します。



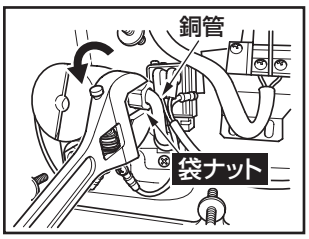
3 開閉ねじを閉める

開閉ねじを閉める。

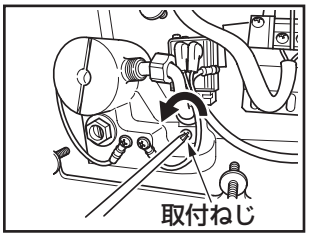


4 旧駆動部の取り外し

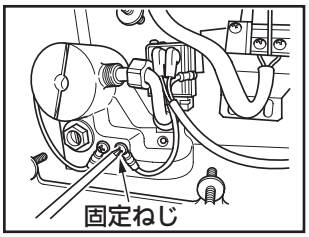
①本体側の袋ナットを取り外す。



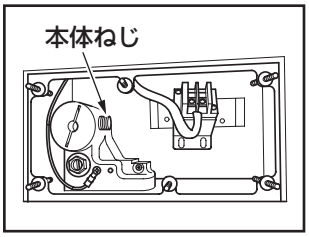
②駆動部の取付ねじを取り外す。



③駆動部アース線の本体の固定ねじを外す。
※固定ねじはあとから使用します。

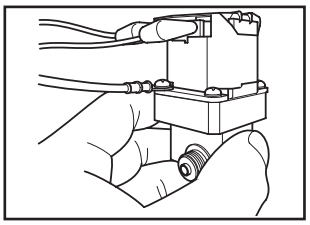


④駆動部を銅管ごと取り外す。
※本体ねじを歯ブラシなどを使って清掃してください。



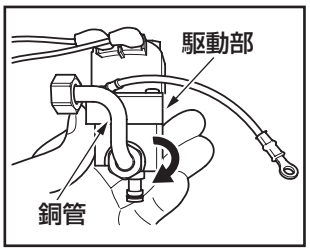
5 駆動部の取り付け

①新しい駆動部の樹脂カバーをいったん外す。
※駆動部を本体に固定後、使用します。

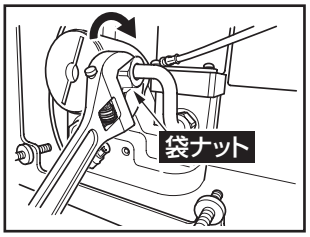


②新しい銅管・駆動部・パッキンを組み付ける。

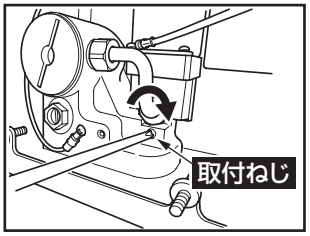
**銅管には方向性があるので要注意！
取り替え前と同じ向きに取り付けてください。**



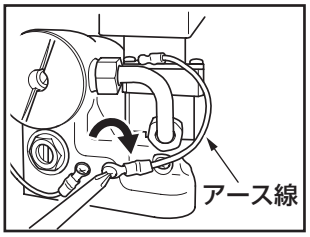
③駆動部を設置し、袋ナットを締め付ける。



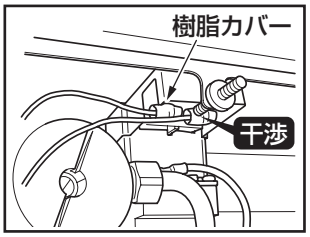
④駆動部の取付ねじを締め付け、固定する。
※取付ねじを締め付け過ぎると、駆動部が片寄り水漏れのおそれがありますのでご注意ください。



⑤駆動部からのアース線を本体にねじで固定する。

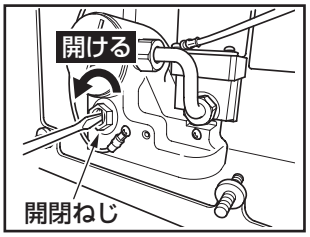


⑥駆動部上部に樹脂カバーを取り付ける。
※樹脂カバーがアジャスターボルトに干渉する場合は、樹脂カバーは奥側のみかぶせる。



6 開閉ねじを開ける

開閉ねじを開け、各部の水漏れの有無を確認する。

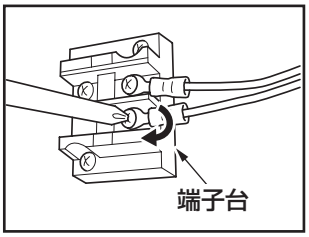


「5 取り替え後の調節」を行ったあと、センサー台および光電センサーを取り付けると、取り替えがスムーズに行えます。

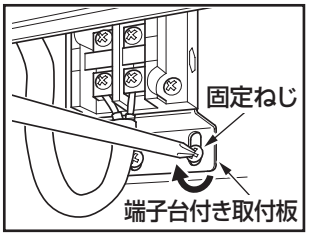
裏面へつづく

7 電源線の接続

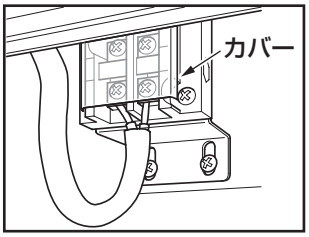
①既設の端子台に、新しいコネクター付き電源コード（黄色）の丸端子をねじで接続する。



②端子台付き取付板を固定ねじでボックスの面に固定する。

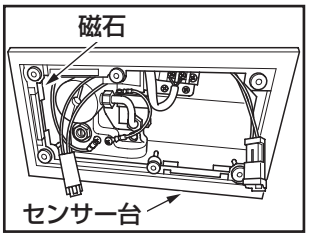


③端子台にカバーを付ける。

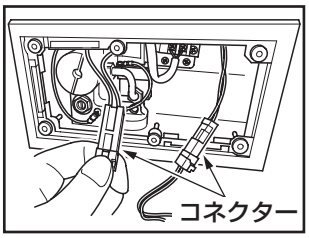


8 センサー台および光電センサーの取り付け

①新しいセンサー台を取り付ける。
※磁石のある側を左側に設置してください。

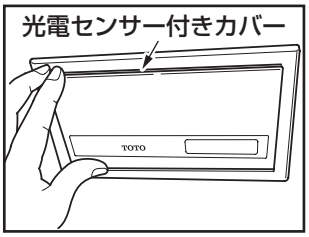


②光電センサーからの電源用コードと電磁弁用コードのそれぞれのコネクターを接続する。



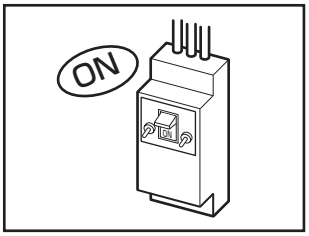
9 光電センサー付きカバーの取り付け

①光電センサー付きカバーを取り付ける。
※電源線やコードおよびコネクターが内部で干渉し、光電センサー付きカバーが浮き上がることがあるので、調節します。



10 電源の投入

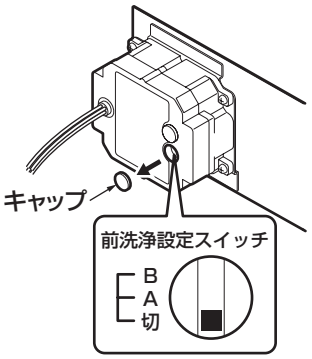
①電源を入れる。
※電源投入5秒以内に自動的に水が流れますが異常ではありません。



5 取り替え後の調節

1.前洗浄の設定

工場出荷時には、「切」の位置に設定しています。
前洗浄する場合はスイッチを「A」または「B」の位置に設定してください。



①前洗浄設定スイッチのキャップを外す。

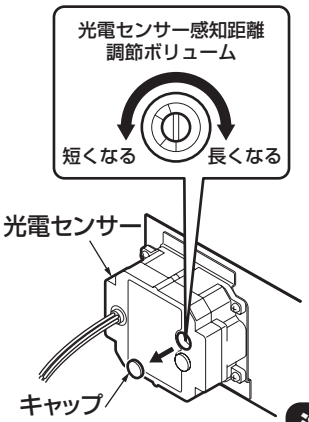
②スイッチを切り替える。
「A」…感知**約2秒後**に洗浄します。
「B」…感知**約5秒後**に洗浄します。

注　意

設定の際には精密ドライバーなどで無理な力を加えないように行ってください。

2.感知距離の調節

感知距離は、工場出荷時は「80cm」に調節していますので、通常の調節は不要です。
万一、通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁などを感知してしまうときは、次の要領で調節してください。



①光電センサー感知距離調節ボリュームのキャップを外す。

②マイナスの精密ドライバーでボリュームを調節する。
感知しない（感知表示ランプが点灯しない）場合、**時計回り（長）**に回してください。
感知したまま（感知表示ランプが消灯しない）の場合、**反時計回り（短）**に回してください。

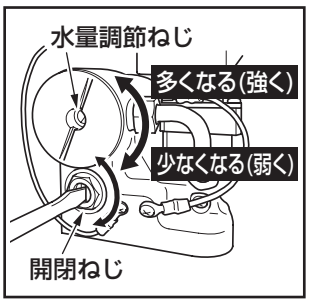
注　意

- **調節ボリュームは少しずつ回して調節してください。**
- **感知距離を必要以上に長くすると誤動作の原因になりますので、必要最小限にとどめてください。**
- **設定の際には精密ドライバーで無理な力を加えないように行ってください。**

3.水量・水勢の調節

＜水量の調節＞
水量が多いときには水量調節ねじを時計回りに、少ないときには反時計回りに回す。

＜水勢の調節＞
水勢が強いときには開閉ねじを時計回りに、弱いときには反時計回りに回す。

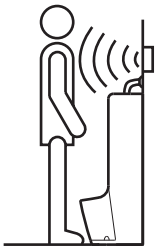


6 洗浄のしくみと使いかた

①感知

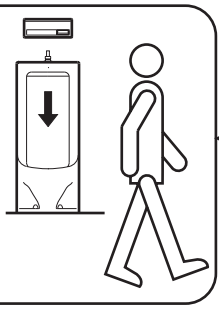
器具から約80cm以内に接近するとセンサーが感知します。

感知距離は着衣の色により異なります。黒っぽい着衣では感知距離が短くなり、洗浄しない場合があります。
その場合はセンサーに手を数秒間かざして洗浄してください。



②本洗浄

使用後、小便器より離れると、小便器を本洗浄します。



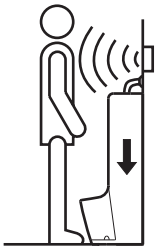
前洗浄

感知開始後約2秒または5秒で小便器を洗浄します。

※前洗浄する場合は、

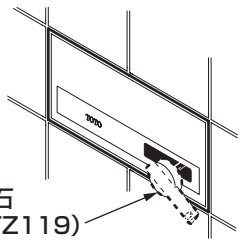
5 1. 前洗浄の設定

をご参照ください。



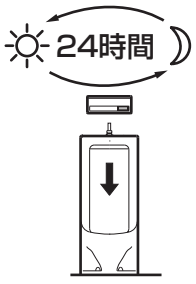
手動洗浄

掃除用磁石（別売品：TZ119）をセンサー窓に近づけると感知に関係なく小便器を洗浄します。



設備保護タイマー

長時間小便器を使用しないときは、24時間経過するごとに自動的に洗浄し、小便器排水管の乾きを防ぎます。

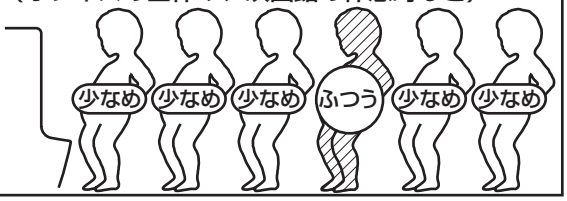


ファジー制御による洗浄について

●使用頻度にあわせて洗浄水量を自動調節 ①②

使用頻度を小便器の未使用時間で判断し、それぞれの場合に最適な洗浄パターンで洗浄。
未使用時間が短いときには頻繁に小便器を利用しているとみなし、少なめの水量。
未使用時間が長いときは、あまり利用されていないとみなし、しっかりと流れるようにふつうの水量だけ流します。

①使用頻度が高いとき
（オフィスの昼休み、映画館の休憩時など）



②使用頻度が低いとき
（早朝や夜のオフィス、人通りの少ない公園など）

●小便量にあわせて洗浄水量を自動調節③④

小便器の使用時間から小便量を推定し、小便量の多少にあわせて、最適の量で洗浄。
使用時間が短いときは量が少ないとみなし、少なめの水量。
使用時間が長いときは量が多いとみなし、水をふつうの水量だけ流します。
※連続して5回少なめの水量を流したときは必ず6回目にふつうの水量を流します。

③使用時間が短いとき

④使用時間が長いとき